霧島支部審判講習会開催概要

１　開催日時　平成 28 年 2 月 7 日　午前 10 時 30 分～12 時

２　参加人数　支部登録１３チーム　保護者　５２名

３　内　　容　霧島市軟式野球連盟　審判員による講義及び実技指導

４　内容詳細　講習会資料による講義

コール（ジャッジの仕方）

各塁ごとの注意事項

マウンドから牽制球を行い、ジャッジの練習

５　コメント　風が冷たいなかでの講習でしたが、お母さん達も混じって

真剣にジャッジのやり方について学んでいました。

来年度も引き続き、審判技術の向上に努めていきたいと

思います。

霧島支部審判講習会

平成 28 年 2 月 7 日（日）　10：30～12：00

会　次　第

1　開会

2　講師紹介

3　墨審について

4　その他

5　閉会

霧島支部審判講習会　資料

１．試合中の志

・見てないものや見えなかったプレーにはジャッジしないでタイムをとって確認。
・観戦者にならない事。プレーは見ない。（ボールを見る）※補足説明
・チェックポイント・・・選手の動きを見る。（打者、守備、走者）
・各審判とアイコンタクトをとる。
・

２．塁審の構え方

・一球ごとにセットポジションで構える。※ただし、走者がいないときは、立ったままの姿勢で、ひざを少し曲げて構える。
・プレイの判定のときにはセットポジションで構える。

セットポジションの構え方

・ひざを軽く曲げる。腰を曲げない。
・両手をひざまたは太ももの上に置く。両脚の内側に置かない。
・頭を上げる。頭を落とさない。
・ひじをまっすぐに。
・　肩の力を抜いて。リラックスして。
・　重心は前に置く。機敏に動けるように。

３．コール（ジェスチャー）

①　ジャッジの仕方

・アウトは一呼吸おいてからジャッジ。
　※落球、ベース離塁する事も頭に入れておく。
・セーフのときはただちにコールする。

②　他、ジェスチャーするケース

・フェア、ファウル、インフィールドフライ
　他、ホームラン、次自分が動く方向等
・フェアはノーボイス。
・ファウルは大きな声でコール。

４．コール（発声）

・アウト、セーフ、ボーク、タイム
・コールする場所の一番良い位置
・フライやライナーを捕球した場合「キャッチ」、落球した場合「ノーキャッチ」

５．立ち位置

①　基本的な考え方

・ジャッジする部位に直角になるように動く。
・子供（各選手）のプレーの邪魔にならないよう配慮する。
　しかし、判定する為に位置取りが出来ない時はこの限りではない。
・タッチアップを確認する。

②　４審制での走者なしとそれぞれの走者ありの場合

◇1 塁塁審のケース
・走者なし。
・走者あり。

◇2 塁塁審のケース
・走者なし。
・走者あり。

◇3 塁塁審のケース
・走者なし。
・走者あり。

７．塁審の動き方

①　基本的な考え方
・時計回りに動く。（選手とは逆）
・ランダウンプレイ時は、審判同士対角線になるようにする。
・ランダウンプレイが始まったら、ベースから３～４メートル前に出て、塁間を結ぶラインから２メートルほど離れたところに位置する。

８．審判の心構え

・必ず帽子を着用すること。スリッパやサンダルでのジャッジは行わない。
・タオルの首巻、試合中の携帯電話は禁止。
・試合開始５分前には、球審とグラウンドルールや立ち位置を確認すること。
・原則、試合途中での審判交替は行なわない。
・素早い動きと大きな声で自信あるジャッジを行うこと。
・反射サングラスの装着は禁止。

９．審判のキーポイント

①　止まって見る
②　角度をとる
③　ボール、プレイを常に自分の正面に
④　判定を急がない
⑤　待ち受ける
⑥　触塁を見る